経営比較分析表（令和3年度決算）

島根県隠岐広域連合（事業会計分）　隠岐島前病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	8	－	－	救 へ 輪
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
－	3,468	第１種該当	－	１０：１

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
20	24	－
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
－	－	44
最大使用病床（一般）	**最大使用病床（療養）**	**最大使用病床（一般＋療養）**
19	22	41

※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

グラフ凡例
- ■ 当該病院値（当該値）
- ー 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

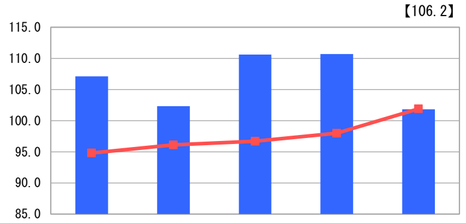
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	－ 年度	－ 年度

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

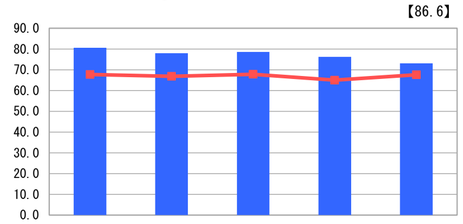
【106.2】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	107.1	102.3	110.6	110.7	101.8
平均値	94.8	96.1	96.7	98.0	101.9

②医業収支比率(%)

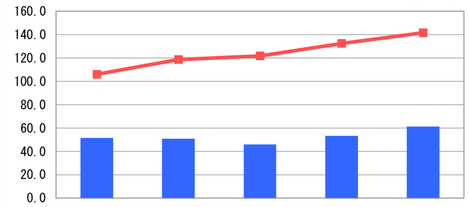
【86.6】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	80.6	78.0	78.6	76.2	73.1
平均値	67.7	66.8	67.8	65.0	67.6

③累積欠損金比率(%)

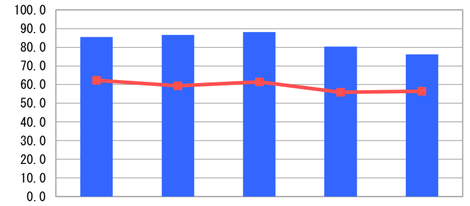
【70.7】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	51.4	50.9	45.9	53.3	61.3
平均値	106.0	118.7	121.7	132.3	141.6

④病床利用率(%)

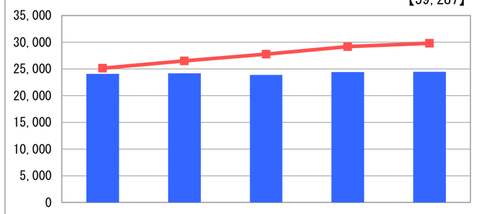
【67.1】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	85.5	86.6	88.1	80.4	76.2
平均値	62.3	59.4	61.4	55.9	56.5

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

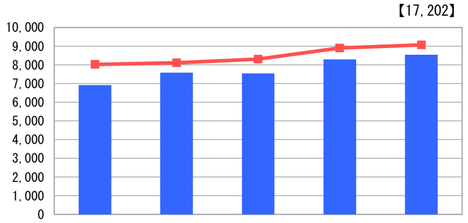
【59,287】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	24,092	24,164	23,863	24,428	24,461
平均値	25,136	26,485	27,761	29,162	29,802

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

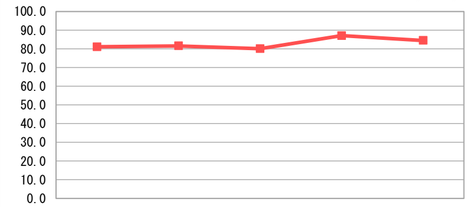
【17,202】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	6,926	7,589	7,542	8,298	8,537
平均値	8,023	8,109	8,307	8,904	9,068

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

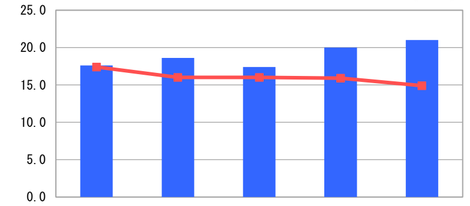
【56.4】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均値	81.1	81.6	80.1	87.1	84.5

⑧材料費対医業収益比率(%)

【24.8】

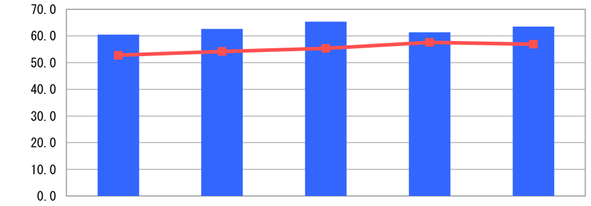


	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	17.6	18.6	17.4	20.0	21.0
平均値	17.4	16.0	16.0	15.9	14.9

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

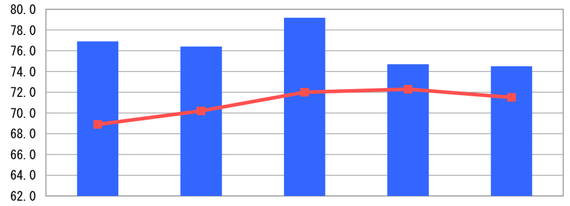
【56.0】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	60.5	62.7	65.4	61.4	63.5
平均値	52.8	54.2	55.4	57.6	56.9

②器械備品減価償却率(%)

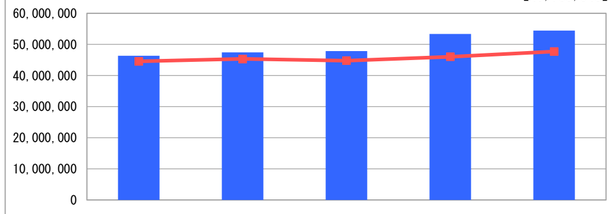
【70.7】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	76.9	76.4	79.2	74.7	74.5
平均値	68.9	70.2	72.0	72.3	71.5

③１床当たり有形固定資産(円)

【49,765,843】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	46,375,682	47,450,023	47,907,523	53,374,205	54,486,795
平均値	44,571,078	45,346,697	44,774,257	46,069,366	47,725,874

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

Ⅰ 地域において担っている役割

当院は、隠岐医療圏のうち、島前地域（西ノ島町:人口約2,700人、海士町:人口約2,200人、知夫村:人口約650人）において、唯一の入院施設を有する医療機関として、急性期医療から在宅医療まで幅広い診療にあたっている。
　3町村にはそれぞれ無床の国保診療所があるが、そのうち西ノ島町の浦郷診療所と知夫村の知夫診療所へは、地域医療支援ブロック制の拠点として、医師の派遣及び代診等を行っている。

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

病床利用率について、類似病院平均値を20%程度上回る状況を維持できていることから、医業収支比率も安定して同平均値を上回っている。経常収支比率についても5期連続して100%を達成しており、累積欠損金比率については、同平均値より大幅に低い水準にて経営を維持している。
　一方で、患者1人当たりの収益については、入院・外来ともに同平均値を下回っていることから、今後は病床機能の見直しや加算の取得に向けた取り組み等が必要である。

2. 老朽化の状況について

当院の建物は主に3つの区画（①旧館・昭和61年建築、②新館・平成13年増改築、③リハビリ棟・平成25年増改築）から構成されている。令和3年度末で旧館区画が築36年、新館区画が築21年を経過するなど老朽化が進んでいることから、有形固定資産減価償却率は平均値を上回っており、今後も増加傾向が見込まれる。
　器械備品減価償却率についても、診療に支障がない限り耐用年数経過後も使用している機器が多いため、同平均値より高い水準で推移している。
　今後、建物については長寿命化に向けた対策を検討するとともに、将来における地域のニーズ把握に努め、関係機関と協議、検討を行っていく。

全体総括

当院は、離島という地理的条件や採算等の面から、民間による医療の提供が困難な不採算の地域に立地し、地域唯一の入院施設を持つ医療機関として地域医療の中心的な役割を果たしている。
　令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響を多分に受けたが、経常収支比率100%を達成することができた。
　しかし今後も厳しい経営環境が見込まれるため、公立病院経営強化プランの作成に取り組むとともに、医師・看護師をはじめとする医療スタッフの確保を図った上で、適正な収入と経費の縮減による、安定した病院経営に努めていく。